

平成 21 年度 第 9 回教育研究評議会議事録

日 時 平成 22 年 1 月 20 日 (水) 14 時 30 分～20 時 25 分

場 所 事務局大会議室

出席者 興、山本義、中村高、西村、満井、南、露無、舩橋、佐藤、三橋、今野、石井、原田、山本章、伊東、酒井、荒川、村井、青山、増田、柳澤、東郷、佐古、高木、鈴木、渡邊修、永津、渡邊尚、田中、三村の各評議員

欠席者 加藤評議員

陪席者 大戸、塩田の各監事
野田、中村和、寺下、太田の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成 21 年度第 8 回教育研究評議会議事録 (案) を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学大学院教育学研究科規則の一部改正について

石井委員から、標記研究科教育実践高度化専攻(教職大学院)における成績評価基準を明確にすること、及び履修科目の登録の上限に関する規定を整備することに伴う標記規則の一部改正について、資料 1 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、委員から、上位規則である静岡大学大学院規則には成績評価基準に対応する定めが無いが、標記規則で規定することは問題ないか、との意見があり、事務局で確認の上、上位規則の改正を行い、次回本会議に諮ることとした。

2 静岡大学ヒトを対象とする研究に関する規則の制定について

中村高委員から、ヒトを対象とする研究等の実施体制について検討し、研究計画の適正な実施及び審査を行うための標記規則の制定について、資料 2 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、対象となる研究の範囲等が明確に理解できるよう、マニュアル等を整備することとした。

3 第二期中期目標・中期計画及び平成 22 年度年度計画について

山本義委員から、第二期中期計画中、さきに文部科学省から記載方法の指示のあった「X その他」等の項目を追記したことについて、資料 3-1 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

続いて、同委員から、平成 22 年度年度計画について、資料 3-2 により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、平成 22 年度年度計画については、本年 3 月末日までに文部科学省へ届出することになっており、それまでの間、意見があれば提案

願い、修正がある場合は、3月の教育研究評議会に諮ることとしたいとの発言があった。

さらに、議長から、本件については、次回経営協議会に付議する予定であるとの発言があった。

4 静岡キャンパス内巡回バスの試験運行について

西村委員から、高齢又は身体の不自由な方等に配慮し、静岡キャンパス内において、巡回バスを試験運行することについて、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、西村委員から、今回の試験運行中、本格運行に向けてアンケート調査を実施し、参考にしたいとの発言があった。

また、佐藤委員から、人文学部棟付近の運行ルートについて、道幅が狭く、特に朝の時間帯は多くの学生が通行することから、安全面の確保が図られるよう要望があった。

Ⅲ 報告事項

1 企画・調整会議審議事項

(1) 静岡大学情報学部長選考規則の一部改正について

議長から、再任回数を1回とし、引き続き3年を超えないことを明確にすることに伴う標記規則の一部改正について、資料5により、審議・承認された旨、報告があった。

(2) 静岡大学における保育所誘致計画について

船橋委員から、学内保育所の必要性及び保育事業主に求める保育サービス等について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

続いて、種々意見交換が行われ、委員から、土地の無償提供の妥当性についての質問のほか、保育所の建物規模や候補地としている守衛所北側のバイク駐輪場の代替地等、ハード面の計画を示した上で誘致を進めるべきである等の意見が出された。

これに対し、西村委員から、土地の無償提供については、運用上の問題は無いこと、及び保育所の設置場所や土地の面積等については、保育事業主の提案を踏まえて検討したいとの発言があった。

(3) 女性研究者(教育者)採用加速システムの実施に関するガイドラインの制定について

船橋委員及び渡部総務部長から、標記システム実施要項(平成21年11月4日役員会決定)の運用に関し必要なガイドラインについて、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された旨、報告があった。

(4) 平成21年度学位記授与式及び平成22年度入学式について

議長から、平成21年度学位記授与式及び平成22年度入学式について、資料8により、審議・承認された旨、報告があった。

なお、議長から、学位記授与式及び入学式における先輩講話候補者の推薦にあたっては、資料8に示す留意事項により人選に配慮願いたいとの発言があった。

2 静岡大学教育研究組織の整備の方向性について

山本義委員及び中村高委員から、前回本会議で出された意見を踏まえた修正箇所等について、資料9により説明があり、本方向性に沿った組織整備を実施に移すにあたり、早急に準備委員会を立ち上げ、マイルストーンの作成等、具体的な検討を行いたいとの発言があった。

3 平成22年度静岡大学予算予定額の概要について

西村委員から、平成22年度静岡大学予算予定額の概要について、資料10-1により説明があった。

続いて、南委員から、評価結果の運営費交付金への反映結果についてのコメント及び今後の課題等について、資料10-2により説明があった。

4 平成20年度決算検査報告について

西村委員から、平成20年度決算検査報告について、資料11により説明があった。

5 教員の採用等報告について

議長から、教育学部3件、情報学部1件、工学部2件、農学部1件、大学教育センター1件の教員の採用等について、資料12により報告があった。

なお、伊東、柳澤、永津の各委員から、公募以外による教員採用（昇任）を行った理由等について、説明があった。

また、中村高委員から、教員の採用にあたっては、何らかの人事戦略を以て行う必要があるとの発言があったほか、議長から、公募を前提とし、有益な人材を採用願いたいとの要請があった。

IV その他

1 教員等を対象とした学長表彰について

議長から、第一期中期目標・中期計画期間を終えるにあたり、顕著な業績を上げた教員等に対し、学長表彰を行いたい旨、発言があった。

2 男女共同参画シンポジウムの開催について

船橋委員から、標記シンポジウムの開催について、資料13により説明があり、各部局に対し、少なくとも構成員の1割程度の人数に参集願うよう、協力要請があったほか、当日、静岡キャンパスから送迎バスを運行する旨、案内があった。

3 大学入試センター試験について

山本義委員から、1月16日(土)、17日(日)実施された大学入試センター試験への協力に対し、謝辞があった。

また、同委員から、1月30日(土)、31日(日)に実施される同試験の追試験について、協力依頼があった。

4 平成22年3月卒業・修了予定者に対する就職支援について

山本義委員から、平成22年3月卒業・修了予定者のうち、未だ就職内定が得られていない学生に対する支援については、授業料減免等の特段の措置は行わないが、就職支援経費での施策を考えたい旨、発言があったほか、席上配付資料により、当該学生に対して適切なアドバイスを行うよう、協力要請があった。

なお、議長から、大学院生については、キャリアパスの多様化が求められており、この点に立っての支援も重要であるとの発言があった。

以 上